

# 平成28年度奈良県地域包括ケアシステム構築 支援補助金事業の取り組み（大和郡山市）

構成要素充実事業＊在宅医療・介護連携推進事業

- 1) 医療・介護Webマップ作成
- 2) 大和郡山市在宅医療・介護連携推進



# 1. 大和郡山市の概況

人口	87,777人
65歳以上人口	26,276人（うち75歳以上：12,216人）
高齢化率	29.9%
日常生活圏域数	1 圏域
地域包括支援センター数	3カ所（うち直営1カ所、委託2カ所）
介護保険料	5,400円
要介護認定率	17.9%
施設サービス費給付費割合	32.0%
（介護老人福祉施設 6カ所，介護老人保健施設 4カ所，介護療養型医療施設 1カ所）	

平成28年9月末現在（給付費割合のみ平成27年度実績）

大和郡山市

## 2. 在宅医療・介護連携推進事業に向けた取り組み

### 1) 医療・介護Webマップ作成

(課題)

医療機関、介護事業所等の情報を市民が得ようとした時に、パンフレットでは情報の更新が遅れがちであるが、インターネット上には様々な情報サイトがあるため、どこを参考にしてよいのか分からない。

(取り組み)

市内の医療機関、介護事業所等の情報を把握し、信頼性の高い市のHPより、市民に分かりやすく検索してもらえるシステムを構築する。

(内容)

Webマップ上に情報を配置することで、市民が各施設の所在地を自宅等との位置関係から把握することができ、そこに掲載された連絡方法や公式HPへのリンク等により、希望する各種医療・介護サービスの情報を市民及び事業者が、スムーズに一括して得ることができる。

## 2) 大和郡山市在宅医療・介護連携

(課題)

- \*在宅医療を担っている各医療機関数等は、ほぼ全国平均に近い整備状況となっているが、訪問診療専門の診療所がない。
- \*医療と介護の事業所間で患者情報を共有するシステムが未構築である。
- \*在宅医療についての地域住民への普及啓発ができていない。
- \*在宅医療に関する相談窓口が設置されていない。
- \*居宅介護支援事業者向けの研修会を年間3～4回実施している。参加者の固定化（参加していない介護支援専門員が約2割）、介護支援専門員の転職や退職が多く質の向上に繋がりにくい

(取り組み内容)

- ①大和郡山市在宅医療・介護連携推進会議（H28.12月）
- ②主任ケアマネ懇談会（H28.10月）
- ③居宅介護支援事業所連絡会設立（H28.10月）
- ④大和郡山市訪問看護事業者連絡会設立（H28.10月）
- ⑤大和郡山市リハビリ事業者連絡会設立（H29.1月設立予定）

## ①大和郡山市在宅医療・介護連携推進会議

(目的) 介護保険法(第115条の45第2項第4号)に基づき、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進し、以て地域包括ケアシステムの構築に資することを目的とする。

(実施主体) 大和郡山市

(内容) 下記ア～ケの項目について、構成員同士のグループワークなどによる意見交換をおこない、本市の方向性などを協議する。

- ア 地域の医療・介護の資源の把握
- イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
- オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- カ 医療・介護関係者の研修
- キ 地域住民への普及啓発
- ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
- ケ その他



(構成員) 大和郡山市の医療・介護関係機関及び行政機関に所属する者等で構成する。検討内容によって構成員は随時変更するものとする。

	所属	人数
医療	大和郡山市医師会	4
	大和郡山市訪問看護事業者連絡会	2
	大和郡山市リハビリテーション事業者連絡会(仮称)	2
介護	居宅介護支援事業者連絡会	4
	大和郡山市地域包括支援センター	3
行政	大和郡山市福祉健康づくり部 介護福祉課	1
	大和郡山市福祉健康づくり部 地域包括ケア推進課	1
	大和郡山市福祉健康づくり部 保健センター	1

(事務局) 大和郡山市福祉健康づくり部地域包括ケア推進課

(会議サポート) 第二地域包括支援センター、第三地域包括支援センター

# 平成28年度 在宅医療・介護連携推進会議の予定（案）

時期	内容
H28.12.5	1) 在宅医療・介護連携推進会議の意義と市が現在、把握している情報の共有 GW①大和郡山市の「強み」と「弱み」はなんだろう ～在宅医療・介護連携の取り組みの現状報告～
H29.	2) 在宅医療・介護連携をすすめるための課題1：医師会、訪問看護、ケアマネ等の実践より GW②切れ目のない在宅医療と介護の提供の実際 GW③情報共有どうしていますか？・・・病診連携、入退院時の連携など
H29.	3) 在宅医療・介護連携をすすめるための課題2：医師会、訪問看護、ケアマネ等の実践より GW④認知症の方への医療・介護、困っていませんか？ ～医療受診拒否、地域の理解、専門医との連携、権利擁護など GW⑤医療について、介護について、もっと知ってもらうために ～医療従事者／介護関係者／地域住民が何を知るべきか 必要な情報をどのように伝達するか？
H29.	4) 課題のまとめ・平成29年度からの取り組み ・①～⑤の課題の整理 →誰が、いつ、どのように行うのか？ →必要なら作業部会の検討 ・在宅医療・介護連携推進会議の継続について

## 第1回大和郡山市在宅医療・介護連携推進会議

実施日	平成28年12月3日(土) 午後2時30分～午後4時30分
場所	大和郡山市保健センター
参加者数	22人
内容	在宅医療・介護連携推進会議の意義と 市が現在、把握している情報の共有
グループ ワーク	大和郡山市の「強み」と「弱み」は なんだろう ～在宅医療・介護連携の取り組みの 現状報告より～



## ②主任介護支援専門員懇談会

\*H28.10.20開催 12事業所 16名参加

\*事例検討、新人ケアマネサポートなどを職場等で実践している人が多い

(今後の課題)

大和郡山市の主任ケアマネとして何ができるか検討していくことが必要

例：ケアマネ研修の企画、事例検討の開催など

### ③居宅介護支援事業所連絡会

実施日	平成28年10月27日（木）午後1時30分～午後3時30分
講師	奈良県地域包括ケア推進室 井勝昭彦室長
参加者	市内居宅介護支援事業所 28団体 50名 郡山保健所／大和郡山市地域包括ケア推進課／地域包括支援センター／第二地域包括支援センター／第三地域包括支援センター



(GW) 医師、看護師等との情報共有で工夫していること、困っていること

大和郡山市

専門職同士の連携をはかり、職務の質の向上や在宅医療・介護連携の課題などに協同で取り組むことを目的として、看護師、理学療法士等各連絡会を設立している。

#### ④大和郡山市訪問看護事業者連絡会

\*訪問看護 8カ所

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 3カ所 など

\*平成28年10月設立

#### ⑤大和郡山市リハビリテーション事業者連絡会

\*大和郡山市内の医療機関、事業所に所属する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による連絡会 (約20名)

\*平成29年1月設立予定

## 部局横断的検討会議（大和郡山市地域包括ケアシステム推進チーム）

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、介護、医療、生活支援、介護予防を充実させるための、地域包括ケアシステムの構築を推進するために、平成28年度に庁内部局横断的検討体制を設置（事務局：地域包括ケア推進課）

所属	職名
副市長	
福祉健康づくり部	部長、介護福祉課長、厚生福祉課長、地域包括ケア推進課長、保健センター所長
総務部	総務課長、市民安全課長
市民生活部	保険年金課長
都市建設部	住宅課長
社会福祉協議会	福祉課長

### 3. 今後の予定

#### 大和郡山市在宅医療・介護連携推進会議

\* 第2回会議は平成29年2月4日開催予定。前回に抽出した大和郡山市の在宅医療・介護連携の課題について、取り組みの方向性と具体策を検討していく。

\* 具体策については優先順位などを考慮しながら、医師会等の関係団体と協議しながら取り組んでいく。必要であれば、その他の職能団体にも協議の場に入ってもらおう。

\* 大和郡山市の在宅医療・介護連携推進については、継続した取り組みが必要であり進行管理も含めて、平成29年度以降も定期的に会議を開催する。